

国語 一一	第二学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前	年	組	番
----------	---------------------------	----	---	---	---

この文の ( ) にはあはれることばを、あとの  からえらび、かきましよう。

- ① 雨が (じゅじゅ) とゆきはじめた。
- ② 日ちの日は、とても (のんびり) とまったりしてかじめた。
- ③ はねみの先は、(どがら) いるので、人におけるともちやない。
- ④ (でいぼり) の道(みち)をある。

でいぼり	どがら	のんびり
じゅじゅ		

国語 一―二	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前	年	組	番
-----------	---------------------------	----	---	---	---

つめの文の（ ）にあてはまる言葉を、あとの  からえらび かきおこせ。

① おおりのは（つめたい）。

② 高原は、夏でも（すすしい）。

③ 春の（あたたかい）日だ。

④ 朝の空気は（ひんやり）として、いいよ。

あたたかい      ひんやり      つめたい  
 すすしい

国語 三十七	第二学年及び第三学年の内容 いろいろな言葉③	名前	年	組	番
-----------	---------------------------	----	---	---	---

この文の（ ）に当てはまる言葉を、あとの□からえらび、書かしよう。

- ① (あせる) とましますしつぱいしてしよう。
- ② ころんだけがをただけれど、なかなかよらに (がまんする)。
- ③ 今かんがえても、あのひとみの中で母にあえたのは (しんじられない)。
- ④ たくさんの友だちと遊ぶと (楽しい)。

楽しい      しんじられない      あせる  
がまんする

国語 三十八	第二学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉③	年 組 番 名前
-----------	---------------------------	-------------------

この文の（ ）に当てはまる言葉を、あとの□から選び、書きまわそう。

- ① ろうかを走<sup>はし</sup>りまわたりまわ（はんせいする）。
- ② じゃんけんで勝<sup>か</sup>つてまわがまわ、まわ（ぞんねん）だ。
- ③ 図工<sup>ずこう</sup>の時間<sup>じかん</sup>に、ロボット作り<sup>つくり</sup>に（むちゅうらになる）。
- ④ 先生<sup>せんせい</sup>にほめられて、すなわに（まわらる）。

よるまわ はんせいする ゑんねん  
むちゅうらになる

国語 十四十九	第二学年及び第三学年の内容 主語と述語	名前 <small>なまえ</small>	年 <small>ねん</small>	組 <small>ぐみ</small>	番 <small>ばん</small>
------------	------------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------

この文について、あとのもんだいに入ってください。  
しよらう。

① ぼくは、八丈島はちじょうじまの海うみで遊ぶおもしろい。

② トイボが、たくさんとんとんと遊ぶ。

もんだい1

①と②の文の述語じゆごに \_\_\_\_\_ をひきまじよらう。

もんだい2

①と②の文の主語しゆごに                      をひきまじよらう。

<p>国語 十四十</p>	<p>第二学年及び第三学年の内容 主語と述語</p>	<p>名前</p>	<p>年</p>	<p>組</p>	<p>番</p>
-------------------	--------------------------------	-----------	----------	----------	----------

この文について、あとのもんだいに入ってください。  
しよ。

① スカイツリーが、このもりと見え  
た。

② みかたんのお兄さんは、学校へ行  
した。

もんだい1

①と②の文の述語に \_\_\_\_\_ をひきかきしよ。

もんだい2

①と②の文の主語に \_\_\_\_\_ をひきかきしよ。

国語 十五—四	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前	年	組	番
------------	---------------------------	----	---	---	---

つぎの文章を「です」「ます」「でした」「まじ  
 た」でおわる文章にかきなおしなさい。書き直  
 したいところに——をひき、そのよりにかきな  
 おしたらとばをかきおしなさい。

つりました。

【れい】魚をやつた。

日よら日に、上のどららのえんにぐらだを見に  
 いまつた。  
~~つ~~つた。上のえまででんしやをおりて、どららの  
 ちを見にまつた。  
 えんまであつた。どららのえんは、だくちの  
 こんでいまつた。  
 人でまんだつた。

国語 十五十五	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前	年	組	番
------------	---------------------------	----	---	---	---

つぎの文章を「です」「ます」「でした」「まじ  
 た」でおわる文章にかまなおしましよ。書き直  
 したいところに——をひき、そのよりにかまな  
 おしたところばをかましましよ。

つりました。

【れい】魚をやた。

ぼくは、今日の朝、七時にあました。「あはよら」  
 しました。

とあかあちゃんにあいせつをした。すると、あかあ

ちゃんは、ぼくをみて「あはよら」とあはれつをし  
 してくれました。

たた。